

会長挨拶



JASRAC 80年史 発刊に寄せて

1939（昭和14）年11月18日、作詞者、作曲者ら48人（発起人は68人）が集まり、大日本音楽著作権協会、現在のJASRACが誕生しました。往事の記録を読み解くと、テレビもない、レコード、ラジオなどでの音楽利用がメインだった時代でしたが、創作者の想いは今の私達以上に熱く、創作者の権利保護を訴える気持ちが、時を超えて伝わってきます。

80年が過ぎた今、インターネットでの音楽配信を中心に、音楽の利用方法もさまざまとなり、また瞬時に国境を越えていく環境となりました。この間JASRACは、国際的な創作者の権利保護の基盤作りに尽力する一方で、音楽を適正に利用され、音楽文化の発展を支えていただいている方々との良好な関係構築に努めてまいりました。

このたび、JASRAC創立80周年を、音楽の創作者、クリエイター団体の会長という立場で迎え思うことは、先輩創作者が権利保護のため訴えてきた熱い想いを受け継ぎ、次世代の人達にこれを受け渡すこと。そしてそれを90、100周年へとさらなる発展につなげてほしい、という創作者としての願いです。

これからも音楽を利用される方々から信頼いただける「愛されるJASRAC」を目指し、常に誠実に、尽力してまいります。これまでの皆さまからのご厚意に深く御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）会長

いではく